

実施状況報告

事業名	展示「総合教育センター30年を振り返って」
実施主体名	総合教育センター
日時	平成24年11月14日(水)～平成24年11月30日(金)
場所	生涯学習センター1階アトリウムコート
参加者	県民（約12,000名）
現在地(松山市上野町)に移転し、総合教育センターと改称して30年経過したことを記念し、企画展示を二週間、行いました。 年表のほか、昭和時代の教員研修や研究発表大会の写真、当時の刊行物やセンター所蔵の資料などの展示を通して、総合教育センターが歩んできた30年を振り返るとともに、現在の総合教育センターの事業内容を県民に紹介しました。	



実施状況報告

事業名	フォトアルバムの創作会「動くアルバムを作ろう！」
実施主体名	愛媛県総合教育センター
日時	平成 24 年 11 月 23 日（日）10:00～12:00、13:00～15:00
場所	愛媛県総合教育センター 情報教育研修室
参加者	児童、保護者（約 50 名）
参加者が持参した写真データをパソコンに取り込んで、ソフトウェア「フォトストーリー 3」を使って、フォトアルバム（スライドショーの動画）を作成しました。 作成したフォトアルバム（スライドショーの動画）を DVD にメニューを作って焼き込み、DVD プレーヤーで再生できるようにしました。 DVD には参加者がデザインしたラベルを印刷し、お土産として持ち帰ってもらいました。	



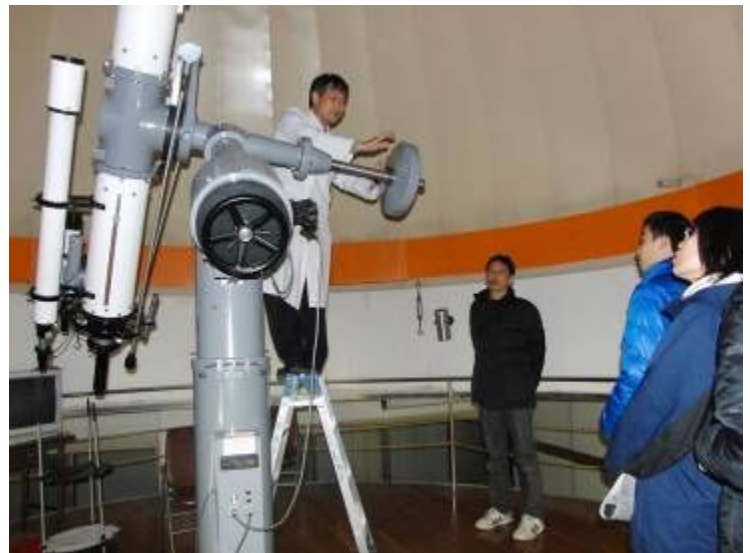
実施状況報告

事業名	折り紙ヒコーキ体験活動
実施主体名	総合教育センター
日時	平成 24 年 11 月 23 日(金) 10:00 ~ 12:00、 13:00 ~ 15:00
場所	えひめ青少年ふれあいセンター
参加者	児童、保護者(約 90 名)
折り紙を使ったヒコーキの折り方や、長い時間飛び続けるための方法について、折り紙ヒコーキ滞空時間世界ランキング上位の講師の先生方に丁寧に御指導いただきました。その後、自分の作ったヒコーキを実際に飛ばして、滞空時間を競いました。上位者は表彰しました。 折り紙ヒコーキは、ただ飛ばすだけでなく、科学への興味・関心を持たせる導入として、日本の伝統文化の進化したものとして、また、児童の体力増進の点や自由な創造表現の能力を高めるという見地からも、多くのことを学ぶことができました。折り紙ヒコーキの奥深さに児童、保護者とも感激し、有意義な時間でした。	



実施状況報告

事業名	天体観測会
実施主体名	総合教育センター
日時	平成 24 年 11 月 17 日(土),11 月 23 日(金) 19:00 ~ 21:00
場所	愛媛県総合教育センター
参加者	小・中学生とその保護者(合計 約 80 名)
総合教育センターの天体ドーム(屈折式口径 20cm 赤道儀架台)を用いた天体観測会を 2 日間行いました。2 日とも曇空で十分に星を見せるというわけにはいきませんでした。17 日には細い月と木星を雲の隙間から見る事ができました。参加者は月のクレーターや木星の衛星を観察することができました。23 日にはついに最後まで雲は切れずに、薄雲から月の形をようやく確認できた瞬間が少しあった程度でした。天候不順の時のために星を十分見せることはできませんでしたが、天体ドームの見学や説明、望遠鏡の仕組みや使い方の説明、秋の星座の説明(星座の神話等)、惑星や月の説明などをプロジェクターを用いて行いました。また、用意した蛍光塗料を用いた星座カードや星座早見盤の製作に親子で取り組んでいただき、楽しんでもらえたと思います。また、科学遊びのコーナーも用意し、小学生を中心に楽しい時間を過ごしてもらえました。	



実施状況報告

事業名	第50回愛媛県児童生徒理科作品展
実施主体名	愛媛県教育委員会
日時	平成24年10月20日(土)～10月21日(日) 平成24年10月27日(土)～10月28日(日) 平成24年11月4日(土)～11月4日(日)
場所	愛媛県総合科学博物館 愛媛県歴史文化博物館 愛媛県立図書館
参加者	小・中・高等学校の児童生徒、保護者、学校関係者、一般県民 (約1000人)
本年度、応募があった作品2290点の中から、優れた作品を県内の会場にて展示しました。 展示した作品は、特別賞7点、優秀賞200点の計207点です。今年度は、昨年度までの2会場に、愛媛県歴史文化博物館を加えた3会場で行いました。延べ人数で約1000人の参加者があり、どの方も熱心に作品を鑑賞していました。特に、児童生徒や保護者の方は、いろいろな作品の研究の視点やまとめ方を見て、来年度の作品作成のための参考にしていたようでした。	

事業名	第50回愛媛県児童生徒理科作品表彰式
実施主体名	愛媛県教育委員会
日時	平成24年11月22日(木)
場所	愛媛県生涯学習センター 県民小劇場
参加者	小・中・高等学校の児童生徒、保護者、学校関係者(約350人)
特別賞、優秀賞に選ばれた児童生徒の中で、168人が参加して、表彰式をおこないました。 今年度は、記念講演として、ハワイの国立天文台スバル観測所で特別研究員をされている臼田-佐藤功美子先生を講師に迎え、ネット中継による遠隔講演を行いました。臼田-佐藤功美子先生は、ハワイの観測所の様子や、理科研究への取り組み方などを分かりやすく解説されました。児童生徒は、熱心に講演を聞き、講演後の質疑応答にも意欲的に質問していました。 その後の表彰式では、どの児童生徒も立派な態度で授賞式に臨み、来年度の作品応募に対し、気持ちを新たにしていました。	



実施状況報告

事業名	「心の世界」の探検 総合的な学習の時間「共に生きる」
実施主体名	砥部町立宮内小学校
日時	平成 24 年 10 月 26 日(金)
場所	宮内小学校
参加者	児童、教職員(約 70 名)
4 年生の児童を対象に行いました。聴覚障害者の困難さを体験した後に、コミュニケーションをとる場合の留意点について理解をしてもらいました。また、聴覚障害者の大切なコミュニケーション手段である指文字と手話を、ゲーム感覚で楽しむ中で覚えてもらい、最後は「あと一つ」の歌を手話で表現してみんなで歌いました。その体験をすることで、児童が聴覚障害についての理解を深め、聴覚障害者を自分たちと共に支え合って生きる人々として身近に感じるとともに、自分も何か行動に移したいという思いを持つことにつながることができました。ここで、覚えた手話の歌は、宮内小学校の人権集会において発表されました。	

